

商工会連合会報

第502号

平成27年1月1日

(昭和45年12月3日第3種郵便物認可)

○発行所 秋田県商工会連合会 〒010-0923 秋田市旭北錦町1番47号 秋田県商工会館内 電話018-863-8491(代)
○購読料・1部10円(会費を含む) / 各奇数月1日発行



「白神山地 きりえの祭典」

国民文化祭・あきた2014



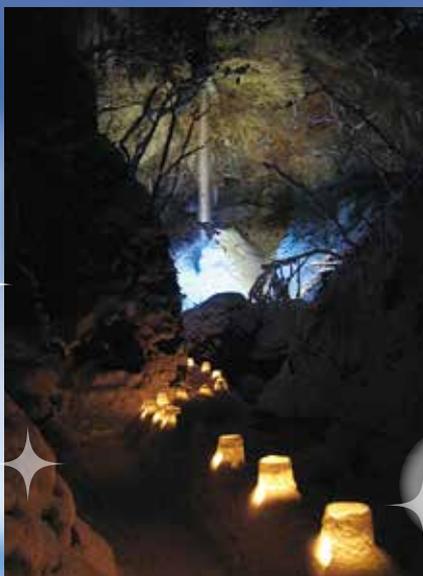
「白神山地きりえの祭典」(10/25~11/3)が開催され、藤里町商工会青年部・女性部はおもてなし部門を担当し、「味噌付けたんぽ」、「だまご鍋」、地元産「白神らむサンド」などを提供し、来場者のおもてなしと地元PRを行いました。



「大寒、滝のライトアップ」

冬場の地域活性化を目的に、毎年大寒の時期になると、藤里町商工会青年部では地元滝のライトアップを実施しています。沢山のカップルや家族連れ、写真愛好家の方々に楽しんでいただいております。

※写真は昨年模様



女子教育と私学振興に生涯を捧げた
明治四十二年、日本に渡来し、現在の南通みその町に榊山幼稚園を設立し、翌年、秋田女子職業学校を設立した。その後、幾多の困難を乗り越えて聖霊学園の基礎をつくり、秋田聖霊短期大学、附属幼稚園、中学校、高等学校を創設、運営。
自らは聖霊学園の理事長として経営に当たり、女子教育と私学振興に尽力した。



画像提供：
秋田聖霊短期大学

そのべ 園部 ピア

出身・ドイツ・バーデン
ヴュルテンベルク州ザールム村
(一八八〇年〜一九六三年)

秋田の偉人たち

vol. 33

- 1 秋田の偉人たち
- 2 3 新年のごあいさつ
- 4 平成26年度 秋田県商工会大会 他
- 5 第16回 商工会青年部全国大会 他
- 6 新たな市場を求め台湾進出に10社が挑戦
- 7 持続化補助金の活用事例紹介
- 8 会員の皆様への重要なお知らせ
- 9 秋田県商工会地域景況判断ボード
- 10 県内商工会の地域貢献事業紹介
- 11 商工会新会員紹介コーナー
・知ってる？
- 12 ・おらほのまちな人

Contents

年頭所感



秋田県商工会連合会
会長 村岡 淑郎

平成27年の年頭にあたり謹んで新年のお祝いを申し上げます。

さて、昨年末に実施された第47回衆議院議員総選挙において、政府与党である自民党と公明党の連立政権は、絶対的安定多数を確保し「アベノミクス」を中心とした経済政策が、今まで以上に強力に推進される見通しとなりました。一日も早く国の隅々にまで政策効果が行きわたり「地方再生」が実現することを願っております。

中でも特筆すべきものとして、平成26年6月に「小規模企業振興基本法」を制定したことが挙げられます。これまで商工会は国の「小規模事業対策」の実施機関として、約50年にわたり、地味ながらも着実に企業支援と地域活性化の両面で活動して参りました。しかしながら、平成11年に「中小企業基本法」が改正され、中小企業の中でも比較的大きな中規模企業に焦点が当てられ、小規模企業にとっては使い勝手の良くない政策が見られました。

このたびの「小規模企業振興基本法」制定は、小規模企業に光を当てて政策を復活させたいという全国の商工会の悲願が国に届いた結果で、大変喜ばしいことだと思っております。

この法律の特徴は次の3つであり、まず一つ目は、「成長発展」だけでなく「持続的発展」を目指す企業も支援対象にしたこと。二つ目は、国が「小規模振興基本計画(5年)」を策定し、毎年、国会に報告する義務を負ったこと。三つ目は、国とともに地方公共団体が小規模企業振興策を策定し、実施する責務を明確にしたことです。

また、この法律よりもひと足早い平成26年4月には秋田県においても「秋田県中小企業振興条例」が施行され、中小企業の自助努力を前提としつつ、オール秋田で中小企業の成長を後押しする具体的な指針が動きだし、各種の補助メニューなどが作られております。

このように、国や県を挙げて、中小企業とりわけ小規模企業支援に、力を入れていただいていることに厚く感謝申し上げるとともに、これらの法律や条例を中身あるものとするため、商工会は相談機能をますます強化し、力を発揮して参るよう覚悟を新たにしているところであります。

具体的には、本連合会と県内21商工会では「取縮した市場の拡大」を統一テーマとして、「持続的に発展する事業者の育成」に取り組んでおります。

まず、経営指導員による日常的な巡回活動を通じて、事業者の個別な経営課題を把握し、それに応じた解決策の提案を盛り込んだ「市場拡大計画」作成支援など「きめ細かい対応」を行うこと。

次に、本会としては初めての試みとして、海外市場進出を視野に入れた事業として「台湾共同進出商談会」を開催し、県内から10社が挑戦したこと。さらには、「創業セミナー」を開催し、

年頭にあたつて



全国商工会連合会
会長 石澤 義文

新年明けましておめでとうございます。平成27年の新春を迎えるにあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

さて、旧年を振り返りますと、商工会組織をあげて要望を続けてまいりました「小規模企業振興基本法」が成立し、地域とともに歩み、地域を支えてきた小規模企業に光があたる確かな道が拓かれた年でありました。基本法の早期制定に向けて、百二十万の署名にご協力いただきました会員をはじめ関係者の皆様、改めてこの場を借りて厚く御礼申し上げます。今年も基本法に基づき、地域で懸命に自助努力を続ける小規模企業の苦勞が報われるような政策を必ず実現すべく邁進して参りたいと存じます。

昨年来、我が国経済は、株価の回復等の明るい兆しが見えるものの、円安による原材料やエネルギー価格の上昇等により、中小・小規模企業の苦境は続き、特に、地方の小規模企業にとっては、景気回復の実感を得ているとは言えない厳しい状況が続いております。

新しい年を迎え、商工会は、組織活動の原点に立ち返り、小規模企業が有する技術や技能を掘り起こすための徹底した巡回訪問はもとより、技術やアイデアを製品化するための企業同士のマッチングの提案など会員の皆様のニーズに応えるため、職員一人ひとりが支援能力向上に努め、地域の支援機関の中核として一層の努力・研鑽を積んでまいりますので、引き続き、皆様のご支援をお願い申し上げます。

終わりに、全国の商工会員の皆様並びに関係各位にとりまして、今年が明るい一年となりますよう心よりご祈念申し上げます。

新年のごあいさつ



秋田県商工会青年部連合会
会長 佐藤 慶太

皆様あけましておめでとうございます。日頃より、皆様には青年部活動へのご理解、ご協力をいただき誠にありがとうございます。

私たち青年部では「自覚と覚悟を持ち、地域発展の先駆者となれ」すべては愛する秋田のために「をスローガン」として諸事業に取り組んでいます。

さて、昨年を振り返りますと、最重要課題である部員減少の対策として、各商工会からのご理解とご協力のもと青年部員資格の従来の40歳から45歳へ引き上げを全県統一で実施し、それを追い風として5月〜9月の期間で行った「部員増強運動」では、全県で新規加入部員が111名、純増部員数が31名と大変大きな成果を上げることができました。青年部員の純増は実に昭和55年以降のことであり、各青年部が部員減少に対する危機感を持ち真剣に取り組んでいた結果だと受け止めております。

また、メイン事業として本県を開催地として行われた「第16回東北六県・北海道商工会青年部員交流研修会並びに商工会青年部主張発表東北・北海道ブロック大会」では、東北・北海道の商工会青年部員約350名の参加のもと、県青連役員等を中心に一致団結して秋田ならではの心からの「おもてなし」で大会を盛会裡に終了することができました。改めて、部員はもとより関係各位のご支援ご協力に心より御礼申し上げます。

昨年、国の「小規模企業振興基本法」(県の「中小企業振興条例」が制定され、私たちの大半を占める中小企業にとって追い風が吹いております。その追い風に乗り、今こそ、中小企業は自らの強みを認識し、激変する環境に柔軟かつ迅速に対応して

平成26年度 秋田県商工会大会



平成26年10月28日、秋田キャッスルホテルで、商工会役員等約200名が集い、「小規模企業振興基本法」と「秋田県中小企業振興条例」制定の記念大会として、平成26年度秋田県商工会大会が盛大に開催されました。

平成26年度 商工会長・役員セミナー

秋田県商工会大会に先立ち、「小規模企業振興基本法制定について」と題し、中小企業庁経営支援部小規模企業振興課長の桜町道雄氏に講演していただきました。

講演では、「小規模企業振興基本

法」「小規模事業者支援法」の概要や関連施策等について分かりやすく解説していただき、今後の事業展開に役立つ情報を得ることができました。

第54回 商工会全国大会



平成26年11月20日、東京のNHKホールにて「第54回商工会全国大会」が開催され、全国から約3,000名、本県からは40名の商工会長等が参加しました。

本大会は小規模企業振興基本法制定記念大会と位置づけられ、安倍内閣総理大臣や多くの来賓を迎え、会場は大いに盛り上がりました。

採択された大会決議項目

1. ローカル・アベノミクスによる地域経済の好循環の早期実現
1. 小規模企業振興基本法に基づく小規模企業対策の抜本的強化
1. 小規模企業支援体制の強化
1. 中小・小規模企業の活力に資する税制の実現
1. 東日本大震災からの復興の加速化
1. 商工会の支援機能の更なる強化

秋田県知事との懇談会



平成26年12月12日、秋田キャッスルホテルで秋田県知事との懇談会が開催され、県からは佐竹知事をはじめ、岩澤産業労働部次長、水澤産業政策課長、本会からは正副会長、松橋専務理事が出席しました。

はじめに、村岡会長が「『持続的に発展する事業者の育成』と『地域の強みを活かしたブランド化』を最重要事業として、県の『中小企業振興条例』に応じた諸事業を推進していく」と挨拶しました。

続いて、商工会の取り組みや小規模事業者持続化補助金等の活用事例、台湾共同進出商談会について報告し、地域の現状や課題等について積極的な意見交換を行いました。

佐竹知事からは、県内商工会の取り組みに対して「危機意識を持ってよくやっている」という高い評価と「県も応援していくので、希望を持って頑張ってほしい」と温かいメッセージをいただきました。

平成26年 秋の叙勲

◆◆ 瑞宝単光章 ◆◆

佐藤 良廣
(三種町商工会員)

五十嵐 養藏
(美郷町商工会員)

◆◆ 旭日小綬章 ◆◆

須田 精一
(由利本荘市商工会員)

鈴木 健朗
(大仙市商工会員)

麻生 俊一
(ゆざわ小町商工会理事)

◆◆ 旭日双光章 ◆◆

仙北谷 洋一
(仙北市商工会員)

◆◆ 黄綬褒章 ◆◆

菅原 久悦
(潟上市商工会商業部会副会長)

◆◆ 藍綬褒章 ◆◆

本間 論
(由利本荘市商工会員)

第16回商工会青年部全国大会

(新潟大会)

平成26年11月12日、13日新潟県新潟市の「朱鷺メッセ新潟」において、「第16回商工会青年部全国大会」が開催され、全国から約3,000名、本県からは18名の商工会青年部長等が参加しました。

大会では、組織及び事業推進について優秀な青年部に対し全国大会顕彰が授与されたほか、新潟中越地震で甚大な被害を受けた旧山古志村の村長として復興に尽力された長島忠美氏による基調講演が「言葉」より「行動」〜リーダーのあるべき姿〜と題して行われ、同氏の経験、リーダーとして取った行動など参加者は真剣に耳を傾けていました。



また、参加者間のビジネスチャンス創造の場として商人(AKINDO)商談会が開催されました。

大会では主張発表全国大会も開催され、本県で開催された東北北海道ブロック大会で最優秀賞を獲得し、同ブロック代表として出場された宮城県七ヶ宿町商工会青年部山田岳彦さんが、全国のプロックを勝ち抜いた強豪の中から見事最優秀賞に選ばれました。

女性部おもてなし品質ランクアップ事業「先進地視察研修」

女性部では、「おもてなし隊」の活動のランクアップについて研究するため、去る11月10日から12日の日程で三重県伊勢方面へ視察研修を行いました。

伊勢志摩おもてなしの会

(伊勢なでしこ)

「伊勢なでしこ」は、10代から40歳までの、伊勢が大好きな女性で活動しているおもてなし団体です。伊勢神宮の案内や自主企画イベントを開催するな



ど、様々なおもてなしサービスを行っています。

日頃から「伊勢に不足しているものは何か?」、「伊勢のために何ができるか?」を考え、精力的に活動していました。

【お伊勢さん観光案内人】

伊勢神宮のガイドを有料で行っている団体です。

案内人は、伊勢商工会議所主催のご当地検定「お伊勢さん」の上級試験合格者で、一ヶ月のガイド収入が300万円余りとなるなど、有償のおもてなし活動としては好事例と感じました。

【海兵吉屋(はちまんかまど)】

鳥羽市にある海女小屋体験施設です。ここでは本物の海女さんが自分で獲った海の幸をお客様の目の前でふるまってくれます。



美味しい海の幸と海女さんとの会話が観光客に大好評のおもてなし企業です。

女性部では、この視察で見聞きたことを踏まえ、新たなおもてなし活動を「将来ビジョン」として取りまとめる予定です。

共済加入者 喜びの声

大型車のタイヤ修理中にチューブが破裂! 共済金の請求手続きも楽々で大満足!!

会員福祉共済



ガソリンスタンドで後継者として勤務する私は、大型車のタイヤ修理中にチューブが突然破裂し、その風圧で吹き飛ばされ全身打撲に加えて右耳から出血し一時は全く聞こえない状態になりました。この事故で商工会からは、労災保険の手続きのほかにも会員福祉共済(傷害)の請求も支援してもらい、後遺症傷害共済金を受けることができました。今は、時々耳鳴りがする程度で日常生活には支障がなく、元気に仕事をしています。

会員福祉共済に加入していたおかげで大きな安心を得ることができ、家族みんなで「共済に加入していて良かったね。商工会に感謝だね。」と話しています。

【情報提供者: (有)石川給油センター(ガソリンスタンド業)専務 石川健作様(三種町商工会)】

新たな市場を求め台湾進出に10社が挑戦



「べっぴんさん品」を台湾日本食レストラン・百貨店に売り込む!

本年度の最重点テーマは「収縮した市場の拡大」。県内小規模事業者の販路拡大支援を海外にも拡充しようと、10月19日から5日間、商工会設立以来、初の試みとなる「海外商談会事業」を実施しました。

本事業は、5月に採択を受けた小規模事業者の海外進出を支援する国の補助等を活用。7月には、県、秋田銀行及び県貿易促進協会の三者が計画した「台湾経済交流ミッション事業」と連携、協賛団体としての参画が決まったことにより、村岡会長が佐竹知事、湊屋頭取らとともに台湾政府機関等を訪問しトップセールスを行いました。



●意欲ある10社が参加、秋田を代表する食材が勢揃い

商談会は10月20日から3日間、台北市で開催しました。秋田県内の特産品を一堂に集めることで魅力を高め、共同で売り込もうというのが狙いで、7月に募集したところ、10商工会から10社の応募がありました。いずれも商工会長が推薦する優良特産品「べっぴんさん品」の登録事業所であり、海外との取引経験は浅いものの海外進出に意欲が高い事業所ばかりで、秋田を代表する秋田米、きりたんぼ、いぶり漬け、佃煮などの食材29品が出展しました。

No	主な出展商品名	商工会名	事業所名
1	なかせんこまち真空パック	大 仙 市	(農法)中仙さくらファーム
2	レンジでチンするきりたんぼ	湖 東 3 町	郷土料理いしかわ
3	稲庭寶来うどん	ゆざわ小町	(有)稲庭宝泉堂
4	秋田比内地鶏ラーメン	仙 北 市	(株)アルク
5	いぶり大根	羽 後 町	(有)ゆめ企画須藤健太郎商店
6	佃煮	潟 上 市	佐藤食品(株)
7	プラムワイン高城	由利本荘市	(株)岩城
8	黒い果実(黒にんにく)	に か ほ 市	フェイスカンパニー
9	雑穀シリアル	北 秋 田 市	(株)あきた雑穀村
10	乾燥ナマコ	男 鹿 市	(株)ひろまる食品工房



■1日目 ホテルでの秋田県商談会「大手レストランチェーン・百貨店等と42件の商談」

秋田銀行が募集した12社を加え22社が参加。リージェントホテル台北を会場に中国信託銀行が招いた約40社のバイヤーが来場。予め設定したタイムスケジュールに沿って42件の商談を行いました。金融機関が招へいた信用ある企業ばかりで熱心な商談が展開されました。



■2日目 日本食レストランでの試食展示商談会「飲食店・卸売業等と49件の商談」

会場の「和食えん」は台北の繁華街にある「百貨店そごう」11階に立地する高級店。富裕層も多く、現地協力先SGM社の招きで、飲食、卸売業など約30名のバイヤーが来場し49件の商談を行いました。



■3日目 訪問による個別商談「スーパー、百貨店、貿易会社と11件の商談」

食品スーパーや卸売業者など4社を訪問し、代表がプレゼンを行いながら、個々の商品や秋田県の魅力をアピールしました。相手先を訪問することで理解が深まり、特にスーパーでは、店頭で並ぶ他の日本食材の価格、表示、分量、パッケージ等の市場調査を行うことができ、担当者に客の好みや売れ行きを質問するなど、実際の売場で商談が展開されました。



【商談数は102件、優良な商談先との第1コンタクトが実現】

3日間の商談のべ件数は102件、商談企業数は61社にのぼり、業種は小売業(スーパー・百貨店)が最も多く、次いで卸売業、飲食業でした。相手先の選定は、金融機関と日系貿易会社の仲介とあって、信用度も高く、趣旨が浸透している点において、まずは優良な相手先とのコンタクトを実現できたことが第1の大きな収穫となりました。

参加者の声 ●「自信が持てた、課題が見えた、ヒントを得た」

株式会社 岩城

商談先とは、現在もメールにて交渉を継続しております。貿易に伴う動きとしては、台湾での法定表記に適合するパッケージの試作等を行っています。自社商品の強みやセールスポイントが国外にも存在すると知り得たのは大きい成果です。貿易のスキルを強めればマーケットは拡大し収益増加になるものであり、この機会を得られたことは大変有意義で、現地コーディネーターや商工会職員のご尽力に感謝いたします。

持続化補助金の活用事例紹介

伝統の味を極める！販路拡大事業

「三浦醤油店80周年物語」



昭和9年、初代の祖父・兼吉が丁稚奉公を終え、自ら味噌・醤油を製造し、量り売りをして歩いたのが三浦醤油店の始まりです。

現在代表者

である父・義弘が2代目として伝統の味を引き継ぎ、小さな蔵ながら、家族を中心にまとまり、地域に根ざした経営を行っています。

弊社の醤油は甘くまろやかな味が特徴で、昔ながらの各家々との直接の取引を大切にしております。しかし、近年は調味料の多様化や核家族化、減塩志向もあり、醤油や味噌の消費量は大きく低迷しており、弊社も例外ではありません。売上の減少幅を抑えられるように努力をしています。現状は厳しく、経営向上に繋がる販路開拓と多様化する顧客ニーズにマッ

チした企画提案が必要と考えておりました。

そうした中、県青連役員時代の友人との繋がりの中で、小規模事業者持続化補助金を知りました。日頃から商工会の加藤裕子経営指導員に、弊社の事業計画や将来展望について相談する機会が多くあったこともあり、事業計画策定段階から多くの提案を受けることができました。大変感謝しております。

今回の小規模事業者持続化補助金



家族の名前が入った新パッケージの醤油と新商品「おかず味噌」

の活用を通して、次の4つのことに取り組みました。

- 1 醤油・だし醤油のさらなる品質向上
- 2 「おかず味噌」の商品試作
- 3 HPとネットショップの整備
- 4 アンテナショップや展示会等でのPR

この度の補助金活用を進める上で、市場の動向や顧客ターゲット層の分析など、自社商品における現状を深く掘り下げた、きめ細かな支援を受けました。このことが新商品開発に大きく役立ちました。

初代が作り上げた味、そして二代目が引き継ぎ活かした商品に焦点を当てるとともに、それを支えるおかみ達にゆかりのある「おかず味噌」の商品化に取組みました。これらの商品には、それぞれの思いを込めた名前を付けました。

併せて、潟上市商工会で開催している「潟上3☆スマイル事業」に参加したことにより、同時進行で、モノを売るのではなく「体験」としてお客様に商品を知ってもらう重要性や手法を学ぶことができ、大変効果的でした。

今後は、これまで以上に地域の素材を学び、商品に活かしていけるように

取組めます。これまで大切にしてきたお客様と向きあう販売スタイルを、ネット販売の中でも活かしていけるような体制作りを確立していきます。



後継者から一言

潟上市商工会
有限会社 三協商事
(三浦醤油店)
三浦 将人



先代の作り上げてきた商品、味をしっかり残していくとともに、今までもこれからも人とのつながりを大切に、次の90年、100年を目指して、自社のファンを増やしていきたいと思っております。

潟上市天王字上江川47-502 TEL018-878-2015

会員の皆様への重要なお知らせ

情報化推進で商工会の 経営支援サービスが大きく変わります タブレット端末を持って巡回訪問します

商工会では、「小規模企業振興基本法」や「秋田県中小企業振興条例」制定を受けて、地域事業者の持続的発展に貢献できるよう、「IT活用による経営支援力の強化」を目指していきます。

具体的には、本年1月に県内の経営指導員全員にタブレット型携帯端末を配備して、巡回訪問先での経営支援業務へ活用していく予定です。これにより、「画像や動画を活用した視覚的・効果的な提案が可能」となり、「提案力の向上」や「施策情報の周知」などにも効果が期待されます。

さらに、来年度には、ネットde記帳の拡充機能である「分析・経営改善計画作成システム」を導入して、経営状況の分析、経営改善計画の作成、実施後の成果確認まで“伴走型の実践支援”を具現化していく予定です。



商工会のIT化構想



従来

<これまでの課題>

- ・事務所に戻らないと指導や提案に必要なデータの確認ができない。
- ・事業者が求める情報を迅速に提供できない。

経営相談・指導

“タブレット型携帯端末”から、商工会の各システム等にアクセスし、その場で「経営に役立つ情報の提供」「データに基づいた分かりやすいアドバイス」が可能になります。

販路拡大を図りたい

⇒HP作成・オンライン販売の活用支援

当期決算の
先行き管理をしたい

⇒ネットde記帳による
財務管理の支援

利益を確保するため
経営計画を立てたい

⇒経営状況の分析・
経営計画の作成支援

経営に役立つ情報を
知りたい

⇒助成金等の施策
情報の提供

秋田県商工会ホストコンピュータ

- ① 事業所の基本情報、指導履歴の管理
- ② 経理システム（ネットde記帳）
- ③ 経営分析、経営改善計画の作成支援
- ④ ホームページ作成・オンライン販売



インターネット

- ① 国県等の施策情報や活用事例
- ② オンライン販売（ECサイト）
- ③ 業界・マーケティング情報（日経テレコン）

【全体】景況は「足踏み状態」

業況DI値は前期より好転が0.1% (9.9%→10.0%) 増加、悪化が0.5% (36.4%→35.9%) 低下したことから0.6ポイント上昇の▲25.9ポイントとなった。DI値は小幅ながら上昇したものの、依然として仕入価格上昇や需要の停滞を問題とする企業が多く見られ、景況は予断を許さない状況にある。



【北部】



- 業況DI値は前期より0.1ポイント低下し、概ね横ばいに推移した。他調査項目は悪化しており、特に採算DI値は6.1ポイント低下した。
- 来期の業況は、製造業、建設業、サービス業が悪化し、小売業は概ね横ばいとなる見通しである。

【中央部】



- 業況DI値は前期より4.9ポイント低下したものの、他調査項目は上昇した。特に資金繰りDI値は7.0ポイント上昇した。
- 来期の業況は、製造業が好転し、建設業は概ね横ばい、小売業、サービス業は悪化する見通しである。

【南部】



- 業況DI値は前期より6.1ポイント上昇した。また、他調査項目も改善しており、特に資金繰りDI値は6.4ポイント上昇した。
- 来期の業況は、サービス業が好転し、建設業は概ね横ばい、製造業、小売業は悪化する見通しである。

【製造業】



■今期の業況

業況DI値は前期より1.2ポイント上昇と小幅ながら改善となった。金属製品、電子部品の受注が増加していることなどから、堅調に推移している。

■来期見通し(3ヵ月ごとの比較)

業況DI値は今期と比べ5.1ポイント低下しており、悪化する見通しである。

■設備投資

今期実施件数は3件あり、調査対象製造業の4.8%が設備投資を行なった。来期計画件数は5件となっている。



【建設業】



■今期の業況

業況DI値は前期より6.4ポイント上昇した。材料価格高騰により採算DI値は悪化となっているものの、公共工事の受注が安定していることから他調査項目は改善となった。

■来期見通し(3ヵ月ごとの比較)

業況DI値は今期と比べ6.4ポイント低下しており、悪化する見通しである。

■設備投資

今期実施件数は7件あり、調査対象建設業の14.6%が設備投資を行なった。来期計画件数は4件となっている。



【小売業】



■今期の業況

業況DI値は前期より13.4ポイント上昇したものの、依然として低調に推移している。個人消費の停滞を懸念する企業が多く見受けられた。

■来期見通し(3ヵ月ごとの比較)

業況DI値は今期と比べ6.4ポイント低下しており、悪化する見通しである。

■設備投資

今期実施件数は4件あり、調査対象小売業の5.1%が設備投資を行なった。来期計画件数は6件となっている。



【サービス業】



■今期の業況

業況DI値は前期より12.5ポイント低下した。仕入価格上昇による利益の圧迫や需要の停滞を経営上の問題点とする企業が多く見受けられた。

■来期見通し(3ヵ月ごとの比較)

業況DI値は今期と比べ0.5ポイント低下し、概ね横ばいの見通しである。

■設備投資

今期実施件数は13件あり、調査対象サービス業の12.5%が設備投資を行なった。来期計画件数は14件となっている。



北部トピックス

- 三種町 三種町森岳じゅんさいの里活性化協議会がふるさと秋田農林水産大賞の産地部門で「農林水産大臣賞」を受賞した。また、町と関係機関が一体となって安全で安心できる国産じゅんさいのブランドを構築するため、JGAP(適切な農場管理の基準)認証を取得した。
- 白神八峰 (株)鈴木水産がむらおこし特産品コンテストで全国商工会連合会会長賞(ハタハタオイル漬け)、全国推奨観光土産審査会で日本商店連盟会長賞(神の魚物語り)を相次いで受賞した。

中央部トピックス

- 河辺雄和 建設機械の販売・修理・レンタル会社の(株)ヨシカワが「芸術の里」の空き家(河辺地区)を活用して秋田営業所を開設することとなった。秋田県に初進出となり、事務所等の改装工事や雇用創出による経済への波及効果が期待される。
- 利本荘市 千代田区神田に利本荘市の食材・地酒を提供するアンテナ居酒屋「秋田県由利本荘市うまいもの酒場」が11月にオープンした。由利本荘市の食材を使った100種類以上の料理と市内4酒蔵の地酒を取り揃えており、今後の販路拡大に期待できる。

南部トピックス

- 大仙市 10月16日～19日に大仙市商工会と行政が主催した大仙市ふるさと物産フェア2014 in 有楽町が東京都JR有楽町駅前広場及び東京交通会館前で開催された。20,000人の来場を記録するなど、大仙市の特産品を求め多くの来場者で賑わった。
- 東成瀬村 タム関連工事関係者の利用や紅葉シーズンを迎える乗客の増加により宿泊施設が活況を呈している。これから冬を迎えスキー場利用客の増加が見込まれることから、周辺地域の経済効果が期待できる。

【天気図】 前年同期比のDI値をもとに作成



※「DI 値」とは、デフュージョン・インデックス(景気動向指数)の略で各調査項目についての増加企業割合と、減少企業割合の差を示す。

【調査要領】

1. 調査対象 (1) 対象地区: 全21 商工会地区 (2) 対象企業数: 294 企業 (3) 回答企業数: 294 企業 (回収率: 100%)
2. 調査対象時期 平成26年10月～12月期を対象とし、調査時点は平成26年11月15日とした。
3. 調査方法 (1) 商工会の経営指導員による訪問面接調査 (2) 調査対象企業の抽出は「中小企業景況調査実施要領およびマニュアル」による。

4. 調査対象企業数内訳

業 種	対象企業数			
	北 部	中 央 部	南 部	合 計
製 造 業	22	18	23	63
建 設 業	18	13	17	48
小 売 業	25	28	26	79
サ ー ビ ス 業	41	31	32	104
合 計	106	90	98	294

5. その他

- (1) 前年同期とは平成25年10月～12月期、前期とは平成26年7月～9月期、来期とは平成27年1月～3月期のことをいう。
- (2) 本報告で主に使用する調査項目は、業況・売上・採算・資金繰り、設備投資の状況である。

県内商工会の地域貢献事業紹介

三種町商工会(県北地区)

事業名 スポーツ少年団招待新人野球大会

1 事業の内容

当会では地域の次世代を担う子供たちの健全な育成を図るため、能代市及び山本郡の商工会地域の小学校単位で活動している野球スポーツ少年団を対象に、5年生以下が出場する新人野球大会を開催しています。町教育委員会や体育協会、野球連盟からの協力を得ながら、今年度で3回目を迎え、回を重ねるごとに定着してきています。

2 事業の効果

今年は部員不足から参加できないチームや選手登録数が試合のできるギリギリのチームなど、少子化の影響が影を落とすようになってきました。それでも地域の次世代を担う子供たちが野球というスポーツのルールを守りながら、チームの勝利という目標を達成するため丸となって試合に臨むひたむきな姿は、まさに地域の将来を明るく照らす光です。

この希望の光である野球少年たちをはじめとする地域の子供たちの健全なる成長が、地元への定着につながり、ひいては地域経済活性化につながることを期待しております。



にかほ市商工会(中央地区)

事業名 買物弱者バス運行調査事業&にかほ☆3T店づくり☆支援事業

1 事業の内容

にかほ市の高齢化率は毎年上昇し続けており高齢者へ向けた買い物弱者支援が必須となっております。また、大企業の組織再編による地域の衰退もあり、売上の確保や地域内のターゲットを高齢者に絞ったビジネスモデルが求められ「①店を作る・②移動手段を提供する・③商品を届ける」の①と③を当会の出前商店街事業「おらほのふれあい便利市」でなされつつあり、定期運行方式・デマンド方式など②を1月～3月までの出前商店街を実施していない冬期間に実施し、売上向上や買物弱者支援、ニーズの把握など、アンケート調査を実施いたします。

更には、来店したお客様への魅力の発信、販売力向上の為、3T(「行きたい」・「買いたい」・「また来たい」と思って頂ける店づくり)を支援するプロモーションセミナーを9月に実施しております。

2 事業の効果

運行調査事業により、買物弱者の②移動手段が確立されることで、外出の機会が少ない買物弱者の利便性の向上とコミュニケーション機会の創出、交流人口の拡大、更には、市行政や地域の個店に周知・報告し、ニーズにあった事業や販売の実施が期待できます。

プロモーション支援セミナーでは14名(事業所)にご参加いただき、応用編の実施を求められるほど満足度が高く、今後、指導員による継続的な経営支援も実施し効果を高めてまいります。



羽後町商工会(県南地区)

事業名 元気のある地域づくり支援事業

1 事業の内容

羽後町では国指定重要無形民俗文化財「西馬音内盆踊り」をはじめ数多くのイベントが開催されており、このほとんどのイベントに青年部・女性部が中心となり、「地域に元気を与えよう」を目指して積極的に参加支援しています。

今回は、羽後町の夏の一夜を町民が楽しみ満喫している「かがり火天国」の支援事業を紹介いたします。町内の各団体で実行委員会を組織し商工会も後援団体として参画しており、青年部、女性部は実行部隊として参画しています。イベントでは青年部主催による「3on3ストリートバスケットボール大会」を開催しており、ここ数年は、秋田ノーザンハピネッツの選手やチアリーダーを招聘してイベントを盛り上げています。また、昨年の「おもてなしまつり」で「うご牛コロツケ」を販売したところ大好評であったことから、今年度は地元デビューを目指して日夜、仕込みに取り組んでいます。女性部は、地域の特産品販売や「エコキャップ運動」などを実施して支援協力しています。

2 事業の効果

地域イベントには町民をはじめ近隣市町村からも多くの来場者があり、地域特産品のPRや新商品紹介などを行うには絶好の機会と捉えています。また、地域の後継者である青年部員が積極的に参画して、町内の団体組織と連携を取りながら実施できることは、今後の連携事業に大いに役立つものと考えています。



商工会新会員紹介コーナー

新たに県内21商工会の会員となられた皆様を紹介します。

三種町商工会

企業名：BAR BER SHOP KATO
 代表者名：加藤 秀悦
 所在地：〒018-2303
 三種町森岳字高田66-1
 連絡先：TEL 090-4041-7328
 E-mail：ysys124@docomo.ne.jp

新会員から一言：10年間理容店に勤務した後、平成24年7月に夢だった独立を果たしました。顧客の要望に対応するため、技術では負けておりません。今後も、ワンランク上のサービスを提供していきます。



にかほ市商工会

企業名：フェイスカンパニー E-mail：faith-company@iaa.itkeeper.ne.jp
 代表者名：長谷部 陽
 所在地：〒018-0411
 にかほ市院内字タモキタ3-1
 連絡先：TEL 0184-74-3938
 携帯：090-2274-1406

新会員から一言：平成25年10月に創業し、黒にんにく『黒い果実』を販売しています。起業時から商工会の指導を頂き、補助金も活用しています。10月に開催された「おもてなしまつり」への出店の他、台湾への市場拡大も目指して奮闘中です。



羽後町商工会

企業名：農事組合法人こまち野
 代表者名：佐藤 金太郎
 所在地：〒012-1100
 雄勝郡羽後町字南野44番地
 連絡先：TEL・FAX 0183-62-5415

新会員から一言：甘くて美味しいイチゴを栽培してます！また、3月から6月にかけて大好評イチゴ狩りイベントも開催！もぎたて新鮮イチゴの他にもこまち野特製「生イチゴソフト」は大人気！『羽後こまち野』で検索お願いします！



あられ、せんべいなど米菓の輸出動向

秋田県商工会連合会 囑託専門指導員 吉田健一氏 寄稿

食べだすとついつい手と口が止まらなくなる「あられ」や「せんべい」。気が付いたら一袋完食ということも何度か経験があります。

ところで、米菓はもち米を原料としてつくられる「あられ」・「おかし」とうるち米を原料としてつくられる「せんべい」に大別されるとのこと。また、「あられ」と「せんべい」の製造工程の違いは、「あられ」はもち米をついた後に冷却し成型しますが、「せんべい」はうるち米をついた後すぐ成型するようです。

今回は、この米菓の輸出動向について、財務省貿易統計から調べてみました。

過去10年間の全国の輸出金額の推移をみると、2004年から2008年までは順調な増加傾向で推移していましたが、2009年に落ち込み、2011年以降は再び増加の傾向を示しています。(グラフ1参照)

全国の輸出相手国をみると、2013年の実績で、米菓は世界38カ国に輸出されており、輸出金額ベースで1位は台湾(1017百万円)、2位は香港(752百万円)、3位はアメリカ合衆国(638百万円)となっています。この3カ国のシェアは全体の約69%を占めています。(グラフ2参照)

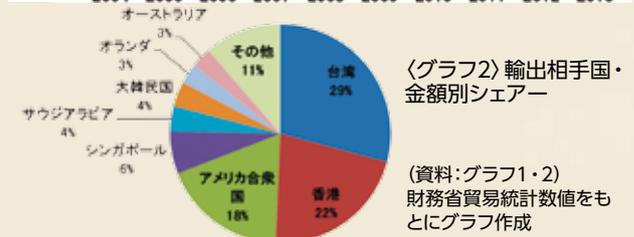
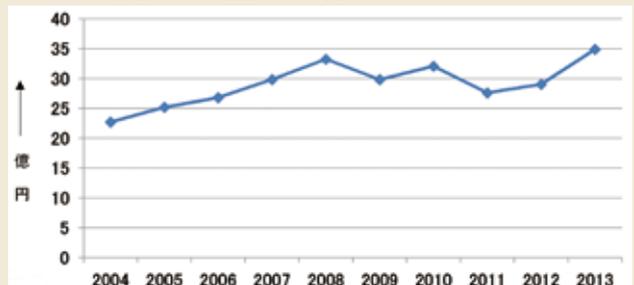
同様に、5年前(2009年)の状況を見ると、1位は台湾(804百万円)、2位はアメリカ合衆国(785百万円)、3位は香港(246百万円)で、順位は異なるものの3カ国のシェアは約62%と、確固としたポジションを獲得していることがわかります。

米菓輸出を税関(港)別輸出金額実績(2013年)でみると、1位は名古屋(920百万円)、2位は神戸(905百万円)、3位は東京(457百万円)となっています。東北管内の状況は、酒田(47百万円)、秋

田船川(22百万円)の輸出実績でした。また、米菓の大手メーカーが立地する新潟税関からの輸出は(61百万円)でした。

今後も日本食文化の広がりとともに、日本の良質な原料と伝統の生産技術に裏打ちされた米菓商品はもちろん、外国人の嗜好、ニーズを考慮した「せんべい」商品の開発など、更なる輸出の拡大に期待します。

〈グラフ1〉全国の米菓輸出金額の推移



〈グラフ2〉輸出相手国・金額別シェア

(資料：グラフ1・2)
 財務省貿易統計数値をもとにグラフ作成

お菓子づくりを通して地域の魅力を外部発信 「にかほ市象潟を持ちかえる」名勝土産を地域で一番に開発・販売!!



白川湖月堂／パティスリー白川

四代目 シェフ 高橋 徹

当店の概要／経営方針

明治20年に和菓子製造小売業として創業し業歴は137年になります。四代目の私から洋菓子を入れ、現在の和洋菓子専門店へ転換しました。

店舗は国道7号線に近い旧国道沿いに位置し、JR象潟駅も近く、市内外ともにアクセスは良好なところにあります。

鳥海山や九十九島、松尾芭蕉が訪れた最北の地として知られるにかほ市は、芭蕉が訪れた「おくの細道風景地象潟及び汐越」として国名勝に指定されており、その「象潟の良さが伝わるお菓子」をモットーに材料の安心・安全を基本に地域色のある観光土産菓子など100種類を超える商品群を販売しております。

にかほ市の花「ねむ」を模した焼き菓子「ねむの花」は当店一番人気で、第22回全国菓子博覧会の菓子博大賞を受賞し、定番化しております。

顧客の声を一番に「旬」をPR

商品の「旬」とお客様の求める「旬」を一致させるためにお客様の声を一番の材料に、期待を超えた満足を感じてもらえるように、季節感のあるPOPやディスプレイで「魅せる」「買いやすい」仕組みづくりをしています。
(販売担当の妻・由樹が頑張ってます)

にかほ市商工会との関わり

今までは異業種交流や女性部のネットワーク構築で活用していました。

昨年、にかほ市商工会が行ったプロジェクト【鱈魚醤事業＝鱈しよつるを活用した商品開発と販路拡大事業】に参画しました。シェフ・パティシエとして労力をかけ、新特産品「鱈しよつる」の良さを理解して、素材や製法、地域の歴史文化までを兼ね備えた「たらどら」を開発し、こだわりの使い方と店舗のこだわりとともにPRしました。その際に商工会が商品や取組を一緒に育てようと支援してくれたことが信頼構築のきっかけです。

今年度は補助事業活用や商工会おもてなしまつり出展などの経営支援事業を活用しています。



昨年に一躍地域の人気商品となった「鱈しよつる入りたらどらやき「たらどら」生地は魚醤風味が味わえる逸品!! JALの機内誌にも掲載された

持続化補助金の活用挑戦!! 事業を通して「前向き」になれた

『補助金＝難しい』のイメージがあり事業計画作成には苦労しましたが、担当指導員の支援を受けながら、新商品とサービスの開発に取り組んでみて、販路開拓や経営を考えることに対して前向きな姿勢になることができたと思います。担当指導員には、大変感謝をしております。



名勝指定を機に開発した「汐越物語」芭蕉の詠んだ句と街歩きの街道を観光客が思い出す持ちかえるコンセプト

お菓子マップの誕生／今後の展開

事業で当店の強みを考えていると、にかほ市をお菓子で地図にできるほどの商品開発をしていることが改めてわかりました。そこから「お菓子で旅する象潟アラカルト」が誕生し、にかほ市の街歩きとともにPRだけでなくお客様には商品のしおりとしても重宝されております。

商品の販売だけでなく「街を知ってもらい、認知度を高める」ことで持続的な経営をしていきたいと考えています。



持続化補助金により開発したPRツール お菓子マップ「象潟アラカルト」

白川湖月堂／パティスリー白川



〒018-0118

にかほ市象潟町字二丁目塩越41

●電話…0184-43-3352

●FAX…0184-43-4383

●営業時間…9:00～18:30

●定休日…毎週月曜日



消費税への準備!! 応援します!

貯蓄 保障 融資

お知らせ

3つの特典